



記者発表資料

千葉開府

Road to
900

since 1126

平成30年5月8日
総合政策局総合政策部
オリンピック・パラリンピック調整課
電話 245-5049
内線 6116

障害者と健常者のパラスポーツ交流会を開催します！

～千葉大学における、ボッチャや車いすフェンシング等の体験による交流会の実施～

千葉市では、千葉大学と連携・協力し、スポーツに親しむ機会の少ない障害者へパラスポーツへの参加を拡大するとともに、障害のある人もない人もパラスポーツに親しむことで、互いの理解を深める取組みとしてパラスポーツ交流会を行いますので、お知らせします。

1 概要・経緯

千葉市では、障害のある人もない人もともにスポーツに親しむことで、両者が互いに理解を深め、誰もが社会に参加・貢献できる共生社会の実現とパラリンピック競技大会の成功につなげることを目指している。

今回、千葉市は千葉大学パラスポーツ交流会実行委員会と協定を締結し、千葉大学で行われる「みんなで参加！みんなで創る！第3回：パラスポーツを広げよう」において、パラスポーツ（ボッチャ、車いすフェンシング、ウィルチェアーラグビー）を通じた障害者と健常者の交流会を開催する。

また、大学を中心とした実行委員会が交流会の企画・運営することで、大学生のパラリンピックへの関心を高めるとともに障害者の理解を深めることも目指す。

2 日時

5月12日（土）10：00～（受付開始 9：30）

3 場所

千葉大学第一体育館（稲毛区弥生町1-33）

4 内容

ボッチャ、車いすフェンシング、ウィルチェアーラグビー体験による交流

5 参加者

大学生及び関係者 約150人

※5月11日（金）まで参加者募集中 申込方法は別紙参照

6 主催

千葉大学パラスポーツ交流会実行委員会（千葉市、千葉大学、千葉県体育学会）

7 その他

当日の取材を希望される方は、5月11日（金）の12：00までに千葉大学教育学部のメールアドレスへご連絡ください。

【メールアドレス】

shimo@faculty.chiba-u.jp

<参考>

1 平成29年度実施実績

- (1) 敬愛大学 10月14日 フライングディスク
- (2) 淑徳大学 10月29日 ボッチャ
- (3) 千葉大学 12月16日 ボッチャ
- (4) 植草学園大学（帝京平成大学との連携） 2月19日 ウィルチェアーラグビー

2 各競技概要

(1) ボッチャ

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式競技です。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールを当てたりして、いかに近づけるかを競います。「リオ2016パラリンピック競技大会」では、日本は銀メダルを獲得しました。

(2) 車いすフェンシング

脊髄損傷や下肢切断による、下肢に障がいのある人を対象とする車いすフェンシングは、「ピスト」と呼ばれる装置に固定した競技用車いすに座り、上半身だけで競技を行います。相手を剣で突くとポイントになるなど、ルールは立って行うオリンピックのフェンシングとほぼ同じですが、フットワークが使えず相手との距離が近く、一定なので、剣さばきのテクニックやスピードが重要なポイントになります。

(3) ウィルチェアーラグビー

ウィルチェアーラグビーは、四肢に障害のある方の競技で、車椅子同士がぶつかり合う激しいボディコンタクトが特徴です。バスケットボールと同じ広さのコートで、バレーボール5号球をもとに開発された公式専用球を使用します。「リオ2016パラリンピック競技大会」では、日本は銅メダルを獲得しました。